

『気象ビッグデータの活用による地域特性を考慮した 72 時間先までの「農業用気象予報システム」の開発と、それを利用した新たな営農管理の検討』が、農林水産省の国庫補助事業に採択されました。

平成 26 年 4 月 25 日

農林水産省は平成 26 年 4 月 4 日、農林水産省補助事業「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」（平成 26 年度新規事業）の選考結果を発表しました。（農水省：http://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/140404_1.html）

弊社が参画する『坂の上のクラウドコンソーシアム（※）』の提案が採択されたので、お知らせします。

※『坂の上のクラウドコンソーシアム』とは

農業 IT システムの研究を目的に、（公財）えひめ産業振興財団が 2013 年度に行った「えひめ IT ソリューション研究会」メンバーを中心に、詳細な農業用気象予報システムを開発し、農作業効率化や気象リスク軽減に生かすために設立された地元 IT 企業と篤農家による共同事業体。

コンピューターシステム株式会社【総括】、野本農園、株式会社ウイン、株式会社大栄電機工業、株式会社ロジック、株式会社ハレックス、（特非）ITC 愛媛、（公財）えひめ産業振興財団の 8 社・団体等が参加。（オブザーバー：愛媛県、愛媛大学農学部、愛媛県農業法人協会、サイボウズ株式会社）

◆プロジェクト概要

1 テーマ

農業用「72 時間先までの気象予報システム」を活用した「コストダウン」及び「品質向上・被害防止」の実証実験

2 目的

気象ビッグデータ解析による農業用高精度気象予報（1kmメッシュ、72 時間（3 日）先まで）を活用した農業用気象システムを構築し、精度の向上と露地栽培におけるリスク回避と生産コストのダウンの手法、並びに農業者が安価で利用しやすいシステム等を検討する。

3 具体的な取り組み内容

- (1) ハレックス社の気象情報 API を活用した農業用の高精度気象予報システムを構築し、72 時間先までの気象予報及び高温・低温障害予知アラート等を提供することにより、天災や収穫減少のリスクコントロールとコストダウンの実証を行う。
- (2) 気象予報を活用した農作業を分析するため、農家に対して一定間隔で聞き取り調査ほか、農作業の効率化やコストダウン、品質向上に繋げるためのデータ収集・分析を行う。
- (3) コスト評価や気象予報に基づく農作業の検証等は愛媛県農業法人協会、愛媛大学農学部や県農林水産研究所等と連携して実施する。

【お問い合わせ先】

コンピューターシステム株式会社
SI システム開発部 山内英徳
TEL089-921-6638
FAX089-921-9313